農事組合法人　いけのうち（国東市池ノ内）

【経営の概要】

経営形態	生産組織（特定農業法人）
モデルの種類	中山間地モデル
設立時期	（総会）平成１８年　５月２５日　　（登記）平成１８年　６月　１日
構成戸数	６９戸
労働力	基幹９名　、補助８名

【経営規模(ha)】

	経営面積	麦　類		大　豆
		小麦	裸麦	
平成20年	１７．２	６．１	７．４	１１．８
平成21年	１７．３	６．１	８．２	７．８

【機械装備】

汎用コンバイン	１台	ブームスプレヤー	１台
トラクター	２台	マニュアスプレッダ	１台

【経営の特徴】

集落一農場型の法人で荒廃田や耕作放棄地の防止を図るとともに農用地の有効な利活用、農業所得の向上をめざした体制づくりを行っている。

機械設備の充実を図り、効率的な生産活動への取り組みを行う。

【導入した新技術】

◎浅耕一工程播種

（手法）

麦跡大豆栽培において、播種前に耕起せず、耕起、施肥、播種を同時に行う。

（結果）

梅雨時期に適期播種を行うことができた。

（留意点）

本技術は播種時期に乾燥している年は多雨年ほど目立った成果はないが、播種時期に降雨の多い通常年では有効である。

＜大豆収穫＞

◎土壌分析に基づく緩効性肥料による省力型追肥（麦）

（手法）

土壌分析を行い、分げつ肥に緩効性肥料を用いることで穂肥、実肥の省力化を図った。

◎土壌分析に基づく土づくり資材の投入（麦）

（手法）

土壌分析を行い、堆肥の投入を図った。

＜緩効性肥料施用区＞

（結果）

					交換性塩基　me			塩基飽和度　%					
	pH	EC	可給態リン酸	陽イオン交換容量	石灰 CaO	苦土 MgO	カリ K_2O	石灰 CaO	苦土 MgO	カリ K_2O	計	C/M比	M/K比
20年度	6.0	0.07	13.2	10.9	5.9	1.0	0.9	53.7	8.7	7.9	70	6.2	1.1
21年度	6.8	0.04	9.8	12.2	8.4	1.5	1.1	68.9	12.3	9.0	90	5.6	1.4

◎シーディングロータリーによる播種（麦）

（手法）
シーディングロータリーを用いて播種を行った。
また、麦踏み、土入れ、施肥作業を同時に行えるようになった。

（結果）
播種作業は昨年同様、播種時間の短縮が図られた。

◎簡易培土板による播種同時溝上げ栽培技術（大豆）

（手法）
大豆について播種同時溝上げ技術を実施した。

（結果）
播種時間が短縮でき、湿害を回避することができた。

◎実肥同時防除技術（麦）

（手法）
麦について実肥同時防除技術を実施した。

（結果）
実肥同時防除により作業時間の短縮と適期管理ができた。

＜ﾌﾞｰﾑｽﾌﾟﾚﾔｰ実演会＞

◎その他特徴的な取組
農地の利用集積を行い規模拡大し、大型機械の導入により経費の削減を図るとともに耕作放棄の防止及び荒廃田の再生を図った。
また、法人の理事・役員会を月１回開催し、情報や課題の共有並びに作業計画、役割分担等の策定により、効率的・計画的な作業を行っている。

◎主な波及活動
・東部振興局管内の水稲直播き栽培予定農家を集めてのショットガン播種技術研修会にて、成果発表を行った。
・東部振興局管内の麦作農家を集めての麦省力化安定技術実演会にて技術の実演を行った。
・（農）いけのうちは集落一農場型経営をしていることから、市内だけでなく県内外からも注目され、たびたび視察の受け入れを行っている。

【経営状況】　（10aあたり）

	労働時間(県平均比)	全算入生産費(県平均比)	所　得
経営全体	9.8hr（76.6%）	43,560円(86.1%)	2.6万円
麦	8.1hr（87.6%）	46,315円(91.7%)	
大　豆	11.8hr（72.0%）	40,409円(80.3%)	